

# World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の窓

Vol. 76

イギリスの年末行事



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のエマ・セイヤーズさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Happy New Year! 明けましておめでとうございます。エマです。鶴田の皆さんは素晴らしいお正月を迎えたことと思います。わたしは12月の末に帰国していたので新年はイギリスで迎えました。

そこで今回は、イギリスの年末の習慣や行事についてお話ししたいと思います。

日本では、お正月はおせち料理を食べて家族と一緒に過ごし、クリスマスはKFC(ケンタッキーフライドチキン)を食べて彼氏や彼女と一緒に過ごしますよね。イギリスでは、日本とは逆にクリスマスの日は家族と一緒に過ごします。ほとんどの家では居間にクリスマスツリーを飾り、25日の朝に子どもたちは早起きをして、サンタさんがプレゼントを置いて行ったかどうかクリスマスツリーの下を確認します。



それから、クリスマス料理の準備が始まります。イギリスのクリスマス・ディナーは昼下がりに食べるので、普通、早朝から調理し始めます。イギリスのクリスマス・ディナーは次のようなものです。

- ◎ロースト・ターキーとグレイビーソースまたは克蘭ベリーソース (A roast turkey with cranberry sauce) (ローストビーフやチキンなどを食べる場合もあります)
- ◎スタッフィング (Stuffing) (お肉の中に野菜などを詰めて調理する料理)
- ◎ロースト・ポテト (Roast potatoes)
- ◎芽キャベツ (Brussel sprouts) (子供たちが一番嫌いなクリスマス・ディナーの野菜! 少し苦い)
- ◎にんじん (Carrots)
- ◎パースニップ (Parsnip) (にんじんに似た形で白い野菜)
- ◎クリスマス・プディング (Christmas pudding) (ブランドーに浸したフルーツケーキ)



△イギリスのクリスマスディナー

食後は居間でリラックスしながら、エリザベス女王のスピーチをテレビで見ます。毎年、女王のスピーチは午後3時から放送されます。そのスピーチは、その年の出来事や思い出に残ったことを振り返る内容です。(2010年のスピーチにはウィリアム王子の婚約の話が出ました。)



△エリザベス女王のテレビスピーチ

イギリスのお正月は、たいてい友達とパーティーをして過ごします。そして31日の真夜中の10秒前からみんなと一緒にカウントダウンを始めます。10, 9, 8... 3, 2, 1。そして午前0時になると、ロンドンのロンドン・アイ(テーマパーク)から花火が打ち上げられます。それは本当に見事です。



△新年を祝うロンドン・アイの打ち上げ花火

イギリスの年末の習慣は日本とは逆でも、それぞれに伝統的な良い過ごし方があると思います。新年のお祝いはもう終わってしまいましたが、皆さんがすでに2011年を楽しんでいることを願っています。2011年も皆さんにお会いできることを楽しみにしています!



今年もよろしくお祈りします